



樟葉南

発行 樟葉南コミュニティ協議会
 会長 井本 由之
 校区の現状
 世帯数 4,122世帯
 人口 8,791人
 (令和7年12月1日 現在)

内閣府「コミュニティ防災教育の推進モデル事業」の取り組み

大阪市立阿倍野防災センター(通称 あべのタスカル)見学 2026年1月10日(土)

小学生と一緒に「大阪市立阿倍野防災センター」を見学しました。

最初は、映像シアターで大きな地震が起きた場合のリアルな動画を視聴しました。この会場の椅子は画面に応じて、振動が伝わるようになっていて、映像と連動して体でも地震を体験できるものです。地震発生時に家族がバラバラになることを想定した映像で、小学生たちも真剣に見ていました。

その後、地震直後の行動について、火を消すことが重要なこと、具体的な消火器の使い方、煙からどのようにして避難するのかなど学びましたが、ここではすべてが模擬体験できる仕組みになっています。

地震被害を受けた街並みの再現ジオラマはとてもリアルに再現されていて、参加者それぞれが「巨大地震の怖さ」を再認識することができました。このジオラマの中で「津波」の高さも実感できる仕組みになっており、大阪市内で5mの高さになる場所も想定されていることを知りました。



小学生による未就学児防災教室 2026年2月13日(土)

ねらい: 異年齢間の防災知識の循環

南小体育館にくずは光の子保育園の5歳児33名に集ってもらい、小学生が未就学児に防災教室を行いました。

これは、地域の小学生が未就学児に防災に関する知識を伝達し、また、この5歳児たちが小学校に入学し、再び、園児に防災知識を伝えるという異年齢間の防災知識の循環を意図した行事です。

小学生たちは自分たちで工夫して、「紙芝居がたぐら(地震で本棚や天井が落ちてくるという内容の紙芝居)」を園児たちに行いました。体育館という広い空間でしたが、これを段ボールで囲い、段ボールには「お部屋」のような絵を描き入れ、紙芝居の進行に合わせて、実際に段ボールを小学生が揺らし、いろいろなものが倒れてくることを再現しました。また、実際の地震を経験したことのない5歳児にとっては、新鮮に映ったようです。

紙芝居の後にはマットを利用して「揺れ」体験を行いました。これはマットを揺らし、その上を園児が四つん這いになって何とか進んでいくというものです。園児たちにとっては楽しい遊びの要素もあり、一度では満足できず、全員で「もう一回」とリクエスト。遊びながら地震を学ぶことができたのではないかと思います。





自治会の活動から

私たちの活動 美咲3丁目自治会

美咲3丁目自治会では、毎月第2日曜日の午前中に幹事会を開催し、樟葉南校区コミュニティ協議会からの情報共有や、地域行事への参加、自治会運営について話し合っています。

今年度は朝日・美咲の夏祭りで輪投げコーナーを、餅つき大会では餅つきとポップコーンブースを担当し、世代を超えた交流の場づくりに努めました。

また、防災委員を中心に、幅広い年代への防災意識向上にも取り組みました。

近年は少子高齢化や加入世帯数の減少により、組織運営に課題が生じていることから、今年度は自治会の班・ブロック体制の再編成にも着手しました。3班体制は従来通りとしつつ、各班の世帯数が均等になるようブロック割を見直しています。現在は一部の班で退会世帯が増えているため、引き続き再検討を進めています。

幹事会メンバーは毎年交代しますが、今後も親睦を深め、安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

※美咲3丁目は3班16ブロックから3班14ブロックに再編。再編にあたっては、班間でブロックの移動もし、3つの班の世帯数も平均化するなど、大がかりな再編です。



幹事会(2月)

再編。再編にあたっては、班間でブロックの移動もし、3つの班の世帯数も平均化するなど、大がかりな再編です。

班編成の早期見直し

～幹事選出の負担感、不公平感の軽減を願って～

美咲1丁目自治会

美咲1丁目自治会では、来年度より班体制を17班から15班へ統合しました。

○自治会員の減少傾向

○幹事選出が困難化(合併、班の再編成の要望)

→近年、班員の減少が顕著で、幹事選出に負担感が強いと思われる二つの班を抽出

→二つの班の近辺で、比較的班員が少なく合併できそうな班をそれぞれ選ぶ

→二組の班、それぞれの幹事さんと打合せ、合意確認

→役員会

→幹事会

幹事会(2/22)



QOCL (Quality of Community Life) のために 美咲2丁目自治会

美咲2丁目はほぼ100%の自治会加入率で、1グループ12戸前後からなる12班で構成されています。

生活環境を共にするサークル、災害などの時には共に協同するチームの感覚で、普段は自分のできる範囲での活動参加と云うスタイルは、下記に示した防災コミュ

ニケーション網が基になっています。これは安否確認に優れて効果を発揮し、顔の見える緩やかなつながりの一助になります。新年度幹事が自治会費徴収の際にヒアリングして、毎年更新しています。

コミュニティは、ツリー型ではなくリゾーム(地下茎)状の、中心や上下関係を持たず、どこからでも繋がり合う網状の構造や思考を持つ、相互扶助の共同体でありたいものです。

	班○戸数	住所	電話	在宅人数	要援護者数	高齢者数	児童数	備考
○班	○○宅	美咲2-○-○		1	1(男性)	1	0	独居・介護
	○○宅	美咲2-○-○		3	1(乳児)	0	1	防災関係
	○○宅	美咲2-○-○		4	0	0	1	
	○○宅	美咲2-○-○		1	1(女性)	1	0	独居 福祉関係
	○○宅	美咲2-○-○		2	0	1	0	医療関係
	○○宅	美咲2-○-○		—				不在/緊急連絡先
	○○宅	美咲2-○-○		2	0	2	0	防災/建築関係
	○○宅	美咲2-○-○		4	1(女性)	1	1	要介護

- 要援護者：緊急避難等の際に、自力では移動困難で支援を要する方
 - ・高齢の独り暮らしや要介護/要支援などの方
 - ・身体に障害のある方(人工透析なども含む)
 - ・妊産婦や乳幼児(未就学児童) ・難病を抱える方

- 高齢者：ここでは65歳以上の方
- 児童：ここでは乳児から小学生

ハロウィンイベントの取り組み

北船橋町自治会

10月末、北船橋町自治会主催のハロウィンイベントが行われ、町内がにぎやかな雰囲気になりました。仮装した子どもたちが元気に「トリック・オア・トリート」と声をかけながら歩く一方で、大人たちの気合いも負けていません。思い思いの衣装や装飾で参加し、写真撮影やお菓子配りを楽しむ姿があちこちで見られました。

世代を超えて笑顔が広がるひとときとなり、参加者からは「大人のほうが張り切ってしまった」「地域で一緒に楽しめるのがうれしい」といった声も寄せられました。

地域の皆さんが広く顔見知りになり気軽に交流できるきっかけ作りを続けていきます。



写真は副会長の大八木さん力作の顔出しパネル
役員3人も一緒に記念撮影しました。

令和7年度枚方市 ボランティア表彰

二の宮公園「花いっぱい運動」 船橋本町2丁目自治会老人会「桜寿会」

2019年からはじまった二の宮公園での「花いっぱい」運動(アドプトプログラムに参加)、桜寿会では月・水・金の週3日、ラジオ体操もしながら花の手入、公園の清掃を続けています。花の植え替えは年3回あり、苗は枚方市より提供されます。もとは水はけの悪い土だったのが、7年を経過する中で土の質もよくなった、と。ずいぶんと土の入れ替えもやったようです。



古紙回収の現状と課題

朝日自治会

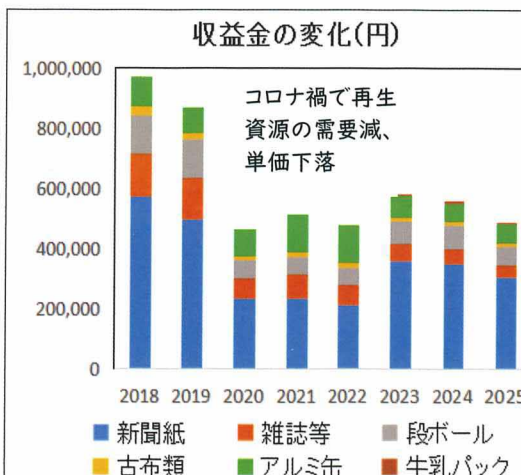
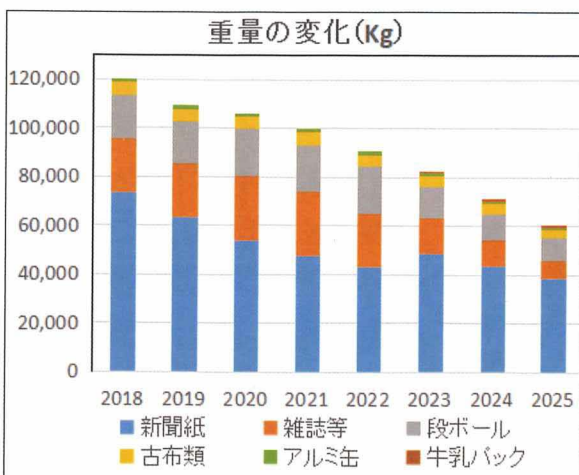
2025年の収益は約48万5千円。古紙の集団回収をはじめた当初より主体は朝日子ども会、自治会は協力する関係で、収益の半分は自治会会計に入ります。子ども会、自治会にとって貴重な財源です。また、総重量6万kgに対し、再生資源集団回収報償金として約24万円

が市から交付されます。(1kgに対し4円)

グラフは過去8年間の重量と収益金の変化です。自治会広報紙で毎年会員にお知らせしています。

【課題】回収量の減少傾向

①新聞購読が減少傾向であることから新聞紙の回収量が減少するのはやむを得ない。段ボールや雑誌等(雑誌・雑紙など)の回収量も減少傾向にあり、全体の減少傾向が続いている。



②アルミ缶や新聞紙などの紙類を集団回収ではなく月2回の市の回収に出されることが結構ある。

※ある集りで、「収益金、こんなに多いの!! もっと頑張ってお金は!」ある会員の発言です。期待



お知らせ

令和8年4月1日より

第一圏域枚方市地域包括センターの運営 「(社協)こもれび」から「(有)はなまる」に移行

「第一圏域 枚方市地域包括支援センター」後任について

令和8年4月1日より、枚方市地域包括支援センターの運営を社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会様より、有限会社はなまるが後任させていただく運びとなりました。

名称は「枚方市地域包括支援センター はなまる」となりますが事業所所在地の変更はございません。

これまで地域の皆様と社会福祉協議会様で培ってこられた大切な絆をしっかりと引き継ぎいたしまして、皆様に安心してお住まい頂ける地域づくりを目指して参ります。

枚方市地域包括支援センター はなまる
管理者 宮崎 恵美

こんにちは！
管理者の宮崎恵美です。
訪問介護、デイサービス
グループホーム等を経て
在宅のケアマネジャーを
約20年しております。
“枚方生まれ枚方育ち”
生粋の枚方っ子です！
これからよろしく
お願いします♪



「困ったな」や「どうしたらいいのかな？」
があれば何でもご相談ください!

地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防ケアマネジメントなどを総合的に行う機関です。センターには、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士が常駐し、専門性を生かして相互連携しながら業務にあたっています。



場所や電話番号は
わかりません！
お気軽にご相談下さい♪

(第一圏域：樟葉小・樟葉南小・樟葉北小校区)
枚方市地域包括支援センター はなまる

〒573-1106 大阪府枚方市町楠葉1丁目28-8
営業時間：平日(9:00~17:30) 土日祝休み

TEL:072-856-9177

FAX:072-856-9188



交通アクセス
京阪電車「樟葉」駅より
徒歩約11分
もしくは
京阪バス「中くずは」すぐ